

ISO14001 認証取得



Certificate No. AJA06/10094

## 東埼玉資源環境組合

### 構成団体

越谷市 草加市 八潮市  
三郷市 吉川市 松伏町

### 今号の主な内容

- ・組合運営方針 ..... 2
- ・3月組合議会報告 ..... 3
- ・平成24年度予算の概要 ..... 3
- ・ダイオキシン類および放射能濃度等測定結果 ..... 4
- ・展望台に絵画展示 ..... 4
- ・こしがや田んぼアート2012 ... 4
- ・八潮市消費生活展出展 ..... 4

●第一工場 〒343-0011 越谷市増林三丁目2番地1 計画課：☎048-966-0121 資源エネルギー課：☎048-966-0123  
FAX. 048-965-6569 総務課：☎048-966-0122

●第二工場 〒340-0001 草加市柿木町107番地1 資源リサイクル課 } ☎048-936-1251 (代表)  
FAX. 048-931-5206 建設準備室

●ホームページアドレス <http://www.reuse.or.jp/> ●発行 東埼玉資源環境組合 ●編集 計画課

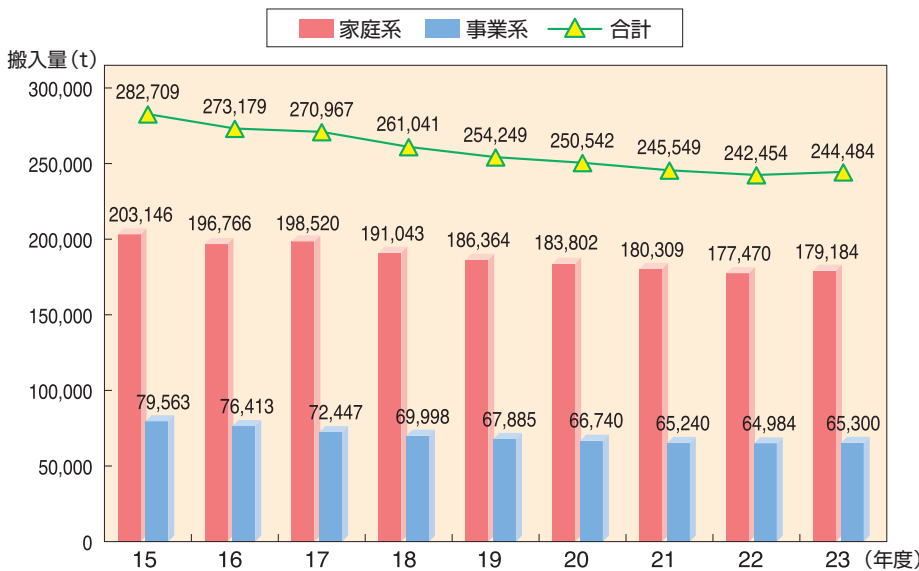
# ごみ減量化を推進し、循環型社会の形成を！

## ごみ減量の状況

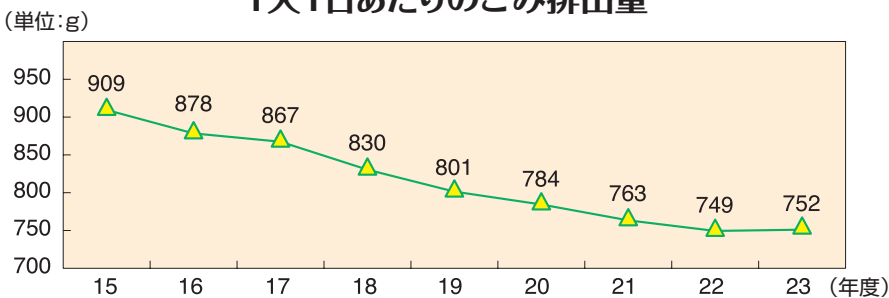


組合に搬入されたごみの量は、構成市町による分別収集の実施と管内の住民の方々や事業者の協力によりまして、平成15年度の約28万2,000トンピークに、平成16年度から年々減少を続け、平成22年度には約24万2,000トンとなり、量では約4万トン、率にして14%減少しました。しかし、平成23年度は、8年振りに増加に転じる状況となっています。

### ごみ搬入量の推移



### 1人1日あたりのごみ排出量



## 構成市町の取り組み状況！



組合を構成する市町は、皆様のご協力をいただきながら、ごみ減量・資源化に向けて様々な取り組みを実施しています。

- 越谷市では、「雑紙救出大作戦」を展開し、各種イベントでのパネル展示、学校等への出張講座を行うなど、15分別の徹底とごみの減量化・資源化を推進しています。
- 草加市では、市広報紙によるごみ減量化の情報発信、小型電気・電子機器を回収し希少・貴重金属などの再資源化を実施しています。
- 八潮市では、市広報紙によるごみ減量化の情報発信および分別収集計画の策定により、ごみの分別排出の徹底と減量化・資源化を推進しています。

- 三郷市では、市広報紙による資源古紙回収に向けた情報の発信、資源物の持ち去り防止条例を制定、ペットボトル分別収集の徹底などを実施しています。
- 吉川市では、市広報紙や市ホームページによるごみ減量化の情報発信、小中学校・自治会を対象とした市職員による出前講座などを実施しています。
- 松伏町では、町広報紙によるごみ減量化の情報発信、資源物回収の補助単価を増額、ペットボトル分別収集の徹底などを実施しています。

## 循環型社会の形成を！



私たちの生活は便利で豊かになりました。豊かさを楽しむ一方で、ごみを出します。「大量生産と大量消費そして大量廃棄」の社会経済状況では、資源を大量に消費することで成り立ち、大量のCO<sub>2</sub>を発生させ地球温暖化の原因となっています。大量消費型社会から循環型社会への転換が今求められています。ごみ減量・資源化の推進は、地球温暖化防止や資源の枯渇に対する有効な対策となります。地球環境を守るため、ごみ減量・資源化に向けた皆様の積極的・継続的な取り組みをお願いいたします。

## リサイクルできる可燃ごみ

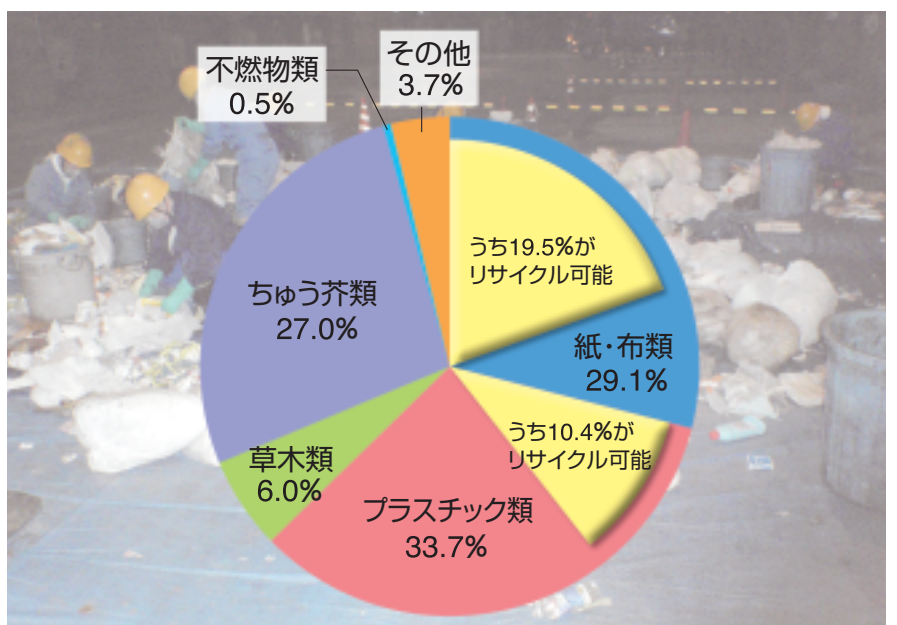


家庭や事業所から第一工場に搬入される「燃えるごみ」には、どのような種類のごみがあり、資源として利用可能なものがどれくらい含まれるかを定期的に組成調査として実施しています。

紙・布類とプラスチック類の中には、分別すればリサイクル可能な資源となるものが多く含まれています。

家庭や事業所でのごみの分別をさらに推し進め、ごみの減量化と再資源化にご協力ください。

### 平成23年度ごみ組成調査の結果





# 平成24年度組合運営方針



高橋努管理者

## はじめに

平成24年3月定例組合議会をご招集申し上げましたところ、議員の皆様にはご健勝のうちにご出席をいただきありがとうございます。本定例組合議会では、平成24年度の予算案及び議案につきまして、ご審議をいただきますが、管理者としての組合運営方針を申し述べ、議員の皆様そして管内住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

3月27日に、東埼玉資源環境組合議会定例会が開催され、高橋努管理者が平成24年度の組合運営方針を表明しました。

基準値を超える飛灰の搬出をしたことを機に、組合の飛灰についても受け入れ停止となりました。このため、急きよ、第一工場内に一時保管の対処と新たな受け入れ先の確保により難局を乗り切りました。しかし、ごみの焼却処理は依然として厳しい状況が続いており、管内住民の生活環境を保持するため、職員一丸となって全力で取り組んでまいります。



飛灰の一時保管

緊急事態への対応  
これまで、焼却飛灰は秋田県内の最終処分場にて処理・処分しておりましたが、他の自治体が国の

組合の運営経費につきましては、構成市町からの分担金と、ごみ処理手数料と電力売払代金などの収入で賄っております。これまで、電力需給契約を3カ年とすることによる電力売払単価の増額や、既存施設の改修事業において新たに地方債を活用するなど、さらなる財源確保に努めてまいりました。その結果、「財政計画2008」では平成24年度から分担金を53億円と見込んでおりましたが、今年度から財政計画の見直しでは、5億円の減額の見込みです。また、今後計画しております新第二工場ごみ処理施設整備事業や第一工場ごみ処理施設の基幹設備改



リュースまつり：ストラックアウト

造事業などの財源につきましては、国の交付金及び地方債並びに基金を活用することで対応できるものと考えております。

## 開かれた組合運営

管内住民の皆様には、組合の運営状況について情報提供を行うため、「広報リュース」を年4回発行いたします。また、今年度から組合ホームページに組合議会の会議録などを掲載し、審議情報の提供を行うてまいります。

例年、多くの皆様にご来場いただいたしております「環境と情報の集い」は、組合の運営状況やリサイクル推進事業を理解していただく良い機会であると考えております。昨年は、管内の小学4年生を対象に行った絵画展に4,400点を超える応募をいただきました。本年も参加団体のご協力のもと、実施内容の充実を図りながら開催してまいります。

年間を通じて第一工場の施設見学を受け入れるほか、ごみについて学ぶ「夏休み親子スクール」の開催、構成市町で開かれるイベントでの「組合コーナー」の開設や啓発品の無償配布、またレジ袋の削減を目的に作製した組合オリジナルの買物袋「エコバッグ」の販売などにより、ごみ減量や環境問題の啓発を推進してまいります。

## 安全で安定的なごみ処理

ごみ減量化の取り組みは、過去最大となる約28万2,000トンの搬入量を記録した平成15年度の翌年度から構成市町とともに積極的に行ってまいりました。リサイクルの推進により、平成22年度では約24万2,000トンまで減少しましたが、平成23年度2月末における可燃ごみの搬入量は、約22万5,000トンで前年度に比べ0.76パーセントの増加になっており、8年ぶりに増加となる見込みです。

ごみ質分析結果によると、依然として組合に搬入される可燃ごみの中には、リサイクル可能と判断できる紙類の段ボール・雑誌・新聞紙や最終処分場の受け入れ拒否につながる不燃物である缶・乾電池・その他金属類の混入が多くあります。昨年度も構成市町との連携を図りながら管内住民の皆様に分別、リサイクルの徹底を働きかけてまいります。

さらに、事業系ごみにつきましては、今年度もごみの内容物調査を実施し、排出事業者並びに収集事業者への分別の徹底によるごみの減量化・資源化を推進してまいります。

第一工場ごみ処理施設は平成7年の運転開始以来、18年目になります。これまでの過酷な運転状況から設備・機器などの損耗や経年劣化が進行しております。また、福島第一原子力発電所の



ごみ処理：プラットホーム

事故により飛散した放射性物質は、主にせん定枝・刈り草を介してごみと一緒に焼却処理され、飛灰や主灰に混入するほか、工場棟内の設備・機器などにも付着いたします。そのため、オーバーホール工事着手前に放射性物質に関する作業環境測定を行っております。このことから各炉のオーバーホール工事に伴う停止期間が延びるため、設備の処理能力限界に近い運転が続いております。

## 最終処分場

当組合の使命である安全で安定した施設運営を図るために、今年度は通常のオーバーホール工事に合わせてクリーン電気設備更新工事や蒸気タービン・調速機交換工事などを行ってまいります。また、予備部品などを取り揃え、不測の事態にも速やかに対応できるように取り組んでまいります。

ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを利用してのごみ発電設備につきましては、効率よく運転し、工場内などで使用する電力を賄うほか、余剰電力につきましては、電力不足が懸念される状況の中、電力会社に売却することにより安定した電力供給に貢献してまいります。また、隣接する公共施設などには温水による熱供給を引き続き行ってまいります。

焼却灰につきましては、溶融炉で無害化及び減容化したスラグにし、エコパーク吉川「みどり」に埋め立て処分してまいります。その他の焼却灰などの搬出につきま

しては、埼玉県営の最終処分場や複数のリサイクル施設及び民間最終処分場に搬出処分してまいります。また、ごみの焼却処理を安定的に行うために構成市町と連携して放射性物質の搬入抑制に努めてまいります。

## し尿処理

し尿処理施設につきましては、包括的民間委託方式により運転管理を実施しており、搬入されるし尿、浄化槽汚泥を適正に処理することはもとより、より一層の効率的な運転業務を励行し、使用電力量や薬剤使用量などの削減を図ってまいります。さらに今後も、施設の経年劣化に対応した維持補修などを計画的に行いながら、安全で安定した運転に努めてまいります。

## 第二工場ごみ処理施設

第二工場ごみ処理施設建設につきましては、昨年、国より交付金の前提となる「循環型社会形成推進地域計画第二期」の承認をいただきました。今年度は、地権者の皆様のご理解を得ながら懸案となっておりまして、一日も早く新事務手続きを進め、一日も早く新第二工場ごみ処理施設の建設に着手できるよう努めてまいります。

また、第一工場ごみ処理施設の基幹設備改修事業につきましては、新第二工場ごみ処理施設の完成後に実施することになります。引き続き改修のための準備を進めてまいります。

## おわりに

現在の地球環境をこれ以上悪化させずに次の世代に引き継ぐことは、今生きる私たち世代の責務であります。地球規模で課題となっている温暖化防止対策には、事業者や自治体などのほか、一人ひとりの身近な取り組みの積み重ねが必要となります。「塵も積もれば山となる」の諺のとおり、環境にとってプラス要因は、小さなことでも見逃さず行動に移すことが大切となります。組合では、引き続き管内住民、事業者として構成市町と一体となつて、ごみの減量化・資源化を推進し、循環型社会の形成、温室効果ガスの削減に向けて積極的に取り組んでまいります。

## リサイクル事業

緑のリサイクル事業として取り組んでおります堆肥化事業は、原料のせん定枝・刈り草から、国の基準を超える放射性物質が検出されたことに加え、ごみ処理施設から排出された焼却飛灰の保管などに堆肥化施設を使用していることなどから、せん定枝・刈り草の受け入れを中止しております。

また、今後とも放射性物質を含んだごみの処理には万全を期し、安全性を確保しながら確実なごみ処理を継続してまいります。



### ごみの減量化と資源の有効利用をさらに推進

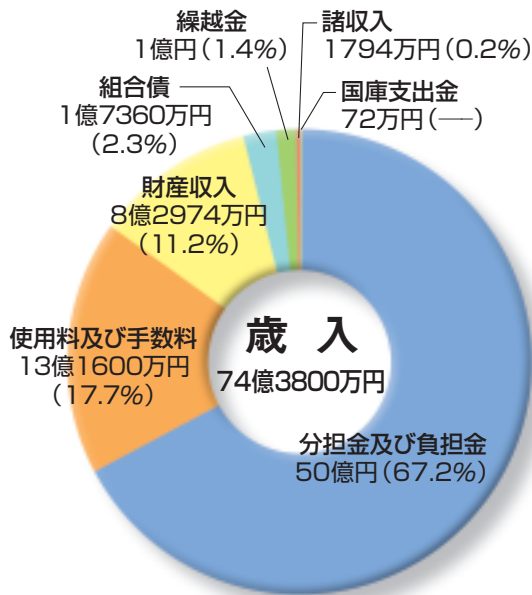
## 平成24年度 組合会計予算のあらまし

平成24年度東埼玉資源環境組合会計予算の概要につきましてお知らせします。予算額は歳入、歳出とも74億3800万円で、前年度の79億200万円に比べ5.9%の減となっています。

今年度も組合は、ごみおよびし尿を安全に安定して処理するとともに、ごみの減量化に向けた施策やごみ発電、温水供給による熱エネルギーの有効利用を行い、循環型社会の形成を目指した事業を積極的に推進していきます。

### 歳入

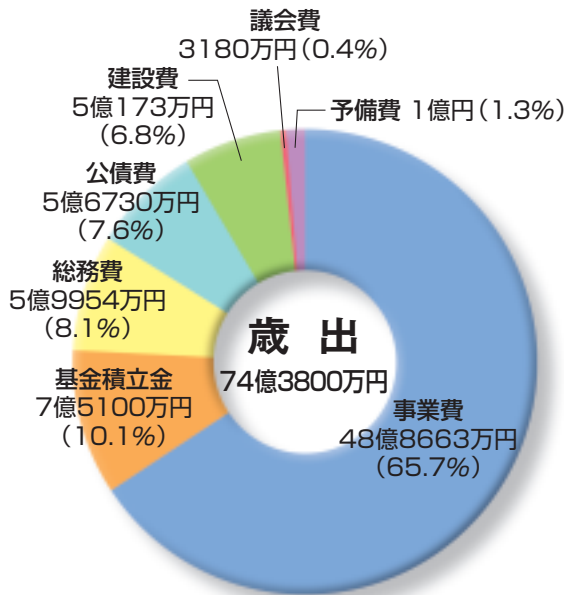
- ◇分担金及び負担金 50億円（構成比67.2%）—— 構成5市1町から納入される分担金です。内容は各市・町が均等に負担する平等割が15%、ごみおよびし尿の搬入量により算定する搬入割が85%となっています。なお、今年度の各市・町の分担金は次のとおりです。
  - 越谷市 16億4089万円（32.8%）
  - 草加市 12億1090万8000円（24.2%）
  - 八潮市 5億8628万6000円（11.7%）
  - 三郷市 8億2048万1000円（16.4%）
  - 吉川市 4億4514万6000円（8.9%）
  - 松伏町 2億9628万9000円（6.0%）
- ◇使用料及び手数料 13億1600万円（同17.7%）—— ショッピングモールやコンビニなどの事業所から排出される事業系ごみの処理手数料です。手数料は10キログラム当たり210円です。
- ◇財産収入 8億2974万円（同11.2%）—— ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを利用し



- て作る電力の売払代金や廃棄物処理施設整備基金積立金利息などです。
- ◇組合債 1億7360万円（同2.3%）—— 第一工場ごみ処理施設整備事業に係る借入金です。
- ◇繰越金 1億円（同1.4%）—— 前年度からの繰越金です。
- ◇雑収入 1794万円（同0.2%）—— 金属類売却代金や温水の熱供給実費徴収金などです。
- ◇国庫支出金 72万円（同—）—— 放射性物質汚染対処特措法の施行に伴う最終処分場の放流水などの放射性物質測定に対する国庫補助金です。

### 歳出

- ◇事業費 48億8663万円（構成比65.7%）—— 施設を安全に安定して運転するための費用で、主なものは次のとおりです。
  - ごみおよびし尿処理施設、最終処分場などの



- 定期的焼却炉や灰溶融炉などの各種機械類をオーバーホールするなどの工事費用です
- 飛灰キレート注入設備の増設や老朽化したクレーン電気設備の更新をするためのごみ処理基幹設備改造工事費用です
- 純水装置を増設するための発電設備整備工事費用です
- 老朽化したタービン调速機を更新するための発電基幹設備改造工事費用です
- 焼却炉から発生する排ガス中の塩化水素や窒素酸化物などを安全に処理するための薬剤購入費です
- ダイオキシン類などの排ガスの測定、ごみの減量化をはかるためのごみの組成分析、水質の分析、放射性物質濃度などの検査委託料です
- ◇基金積立金 7億5100万円（同10.1%）—— 廃棄物処理施設整備基金への積立金です。
- ◇総務費 5億9954万円（同8.1%）—— 総務費の主なものは次のとおりです。
  - 組合の情報を広く積極的に提供するための「広報リユース」の発行費用です
  - ごみの排出抑制のため、「環境と情報の集い」や「夏休み親子スクール」などの事業を通し、総合的な啓発活動を行なうための費用です
  - 組合の庁舎を、安全で利用しやすく維持管理するための委託料、工事費用などです
- ◇公債費 5億6730万円（同7.6%）—— 第一工場および最終処分場の整備事業などの借入金の償還金です。
- ◇建設費 5億173万円（同6.8%）—— 第二工場ごみ処理施設建設に係る費用で、主なものは次のとおりです。
  - 新ごみ処理施設建設の契約事務支援などに係る委託料です
  - 用地拡張に伴う水道管などの移設に係る負担金です
- ◇議会費 3180万円（同0.4%）—— 議会運営に係る費用などです。
- ◇予備費 1億円（同1.3%）—— 予備費として1億円を計上しています。

平成24年度におきましても、組合では限られた予算を効率よく配分し、最小の経費で最大の効果が得られるよう編成しました。しかし、ごみ排出量が増加すればその分処理経費もまた増えることになります。

ごみの減量化と資源化をはかることは、処理経費を減少させるだけでなく、地域と地球環境への負荷の軽減にもなります。

管内住民の皆様には、引き続きごみの減量化と資源化にご協力ください。

### 3月組合議会が開かれました

平成24年3月東埼玉資源環境組合議会定例会が、3月27日に開催されました。

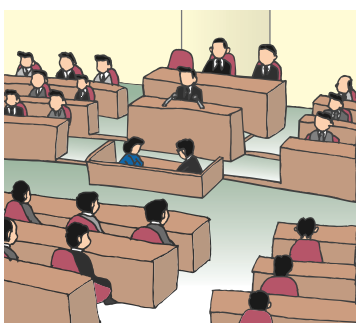
今議会では、管理者提出6議案が上程され、審議の結果すべての議案が可決されました。なお、上程された議案及び一般質問の内容は次のとおりです。

#### 【管理者提出議案】

- ◇第1～3号議案 東埼玉資源環境組合公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて………同意可決
- ◇第4号議案 東埼玉資源環境組合監査委員の選任につき同意を求めることについて………同意可決
- ◇第5号議案 平成23年度東埼玉資源環境組合会計補正予算（第3号）について………原案可決
- ◇第6号議案 平成24年度東埼玉資源環境組合会計予算について………原案可決

#### 【一般質問の内容】

1. 分担金及び負担金について
  - (1) 分担金5億円減と経費削減について
2. 放射性物質の搬入抑制について
  - (1) 組合運営方針にある放射性物質の抑制の具体的な取り組みについて
3. 東日本大震災復興に向けて
  - (1) 大震災後に、国から当組合に対し、がれき処理受け入れの要請はについて
  - (2) 東埼玉資源環境組合として受け入れの考えは



### 第二工場遊水池グラウンドの改修工事完成のお知らせ



溶融スラグの敷設工事中

完成した遊水池グラウンド

第二工場し尿処理施設にある遊水池グラウンドの改修工事が、このほど完成いたしました。この遊水池グラウンドは、少年野球や少年サッカー、グラウンドゴルフ等で管内住民の方々が利用しており、大雨のときには遊水池として雨水を貯めることができる施設です。

今回の工事では、内野を中心に水はけを良くして、雑草等が生えにくくするために第一工場ごみ処理施設で発生する溶融スラグを使用しております。

なお、この溶融スラグは、埼玉県の溶融スラグの有効利用指針に基づき、試験を行い安全性を確認しております。問い合わせ先 資源リサイクル課 ☎048-936-1251



### 展望台に絵画展優秀作品を展示

ぜひ、多くの方々にご覧いただけます。まずよう10月まで展示しますので、第一工場展望台にお越しください。

展望台は、平日(月)～金曜日(土)・第3日曜日の午前10時から午後3時まで公開しています。なお、土・日・祝日、年末年始はお休みです。

絵画展の最優秀賞及び優秀賞作品を第一工場展望台に展示しました。

これらは、「第16回環境と情報の集い」絵画展で応募があった4452点の中から、最優秀賞作品12点、優秀賞作品124点の作品を展示したものです。



買物に便利な布製のバッグを販売しています。レジ袋削減のためご利用ください。

◆販売価格／1枚400円  
◆大きさ／タテ36cm×ヨコ46cm×底マチ14cm、ハンドル(ひも)60cm

◆販売場所／第一工場事務所  
◆受付・問合せ先／計画課 ☎966-0121

※なお、第一工場から遠方の方や大量購入の場合はご相談ください。



好評販売中  
エコバッグ

### 第3回「こしがや田んぼアート2012」体験者募集

組合第一工場南西側の田んぼに古代米を植えてアートを描きます。

今年は、こしがや鴨ネギ鍋PR大使の「ガーヤちゃん」やアニメキャラクターの「マジンガーZ」を描く予定です。

実行委員会では、田植え、稲刈り、感謝祭などの体験者を募集しています。詳しくは、こしがや田んぼアート実行委員会(事務局：越谷市観光協会 ☎048-966-6111)へお問い合わせください。



内容 田植え～収穫祭、感謝祭、まで体験

対象・費用 100組。  
中学生以上2000円、小学生1000円

日時 田植え：5月下旬、日曜日に予定  
予定日 5月27日(日)午前8時30分から  
収穫祭：10月予定  
感謝祭：12月予定

会場 東埼玉資源環境組合 第一工場展望台 南西側水田  
※事前説明会を5月6日(日)午後1時から越谷市農業技術センターで行います。

申込み・問合せ 越谷市観光協会 ☎048-966-6111  
ホームページ <http://www.koshigaya-sightseeing.jp/>  
こしがや田んぼアート実行委員会 事務局

### 八潮市消費生活展に出展しました

2月26日(日)『第21回八潮市消費生活展』が「みつめよう みんなの暮らし」をテーマにやしお生涯学習館で開催されました。当組合では、ごみ減量や搬入量などの情報提供を行いました。また、組合広報紙「リユース」やパンフレット、リサイクルトイレットペーパーなど配布し、PR活動を実施しました。

この催しは、組合のほか10団体が参加し、野外テントではまぜご飯やクッキーの販売、小松菜の無料配布、野菜の即売などがあり多くの入場者で賑わっていました。



### 統計データ

平成23年4月～平成24年3月実績値

#### ■可燃ごみ搬入量 (前年度対比)

23年度 244,484t (101%)  
22年度 242,454t

#### ■堆肥化施設搬入量 (前年度対比)

23年度 509t (24%)  
22年度 2,162t

※放射能汚染による枝・草受け入れ停止のため減少

#### ■し尿搬入量 (前年度対比)

23年度 81,126㎏ (98%)  
22年度 83,054㎏

#### ■売払電力量 (前年度対比)

23年度 96,234,744kwh (117%)  
22年度 81,920,184kwh

※灰溶融炉の運転停止により売電量が減少

#### ■熱供給量 (前年度対比)

23年度 14,122GJ (95%)  
22年度 14,829GJ

※熱供給量 G(ギガ)=10億の単位  
1J(ジュール)≒0.24㎉(カロリー)



さくら(第一工場)

### 平成23年度 ダイオキシン類測定結果

焼却炉	排ガス(単位:ng-TEQ/m <sup>3</sup> N) 基準値 1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N			
	1回目	2回目	3回目	4回目
1号炉	0.032 (平成23年7月19日)	0.014 (平成23年9月7日)	0.0048 (平成23年12月8日)	0.0098 (平成24年2月22日)
2号炉	0.019 (平成23年6月8日)	0.018 (平成23年8月11日)	0.0066 (平成23年11月9日)	0.015 (平成24年1月12日)
3号炉	0.016 (平成23年6月20日)	0.030 (平成23年9月8日)	0.012 (平成23年12月9日)	0.012 (平成24年2月24日)
4号炉	0.0034 (平成23年6月10日)	0.0093 (平成23年8月12日)	0.029 (平成23年11月10日)	0.014 (平成24年1月6日)

※ ng(ナノグラム)…10億分の1グラム  
TEQ…毒性等量のこと、ダイオキシン類の量をダイオキシン類の中で毒性の強い2、3、7、8一塩化ダイオキシンの毒性等量に換算した数値。

#### ■放射能濃度測定結果

採取日	第一工場ごみ処理施設				
	飛灰 キレート処理後	主灰 キレート処理後	焼却残渣 キレート処理後	排ガス	放流水
H24.1.20	1300	240	191	—	不検出
H24.2.17	1110	156	136	—	不検出
H24.3.15	1460	300	280	—	不検出
H24.3.14~19	—	—	—	不検出	—

(単位:ベクレル/kg)

採取日	最終処分場		
	地下水 上流	地下水 下流	放流水
H24.1.13	不検出	不検出	—
H24.2.10	不検出	不検出	—
H24.2.20	—	—	不検出
H24.3.7	不検出	不検出	不検出

測定結果の詳細につきましては、施設の担当課にお問い合わせください。  
【問い合わせ先】  
●第一工場ごみ処理施設：資源エネルギー課  
●最終処分場：資源リサイクル課

#### ■放射線量測定結果

測定日	最終処分場			
	埋立エリア東側	埋立エリア西側	埋立エリア南側	埋立エリア北側
H24年1月	0.21	0.20	0.21	0.18
H24年2月	0.19	0.19	0.21	0.17
H24年3月	0.20	0.19	0.19	0.16

※毎週地表100cmにて測定した結果の平均値

### 統計情報コーナー

ダイオキシン類および放射能濃度等測定結果について

組合では、平成23年度に排ガス中におけるダイオキシン類の測定を4回実施しました。組合が守るべき法的基準値、測定結果は左表のとおりです。測定結果に、基準値を超える数値は

ありませんでした。また、焼却灰などに含まれる放射能濃度と、最終処分場における放射線量の測定を行いました。測定結果は左表のとおりです。

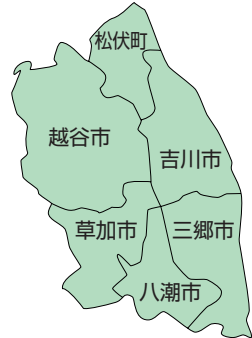
### ちよつと一言

四月を迎え街にはフレッシュユマンがあふれています。この冬は、例年になく厳しい寒さでした。暖かい春を迎え、身も心もうきうきしてきます。体が自然に動き出しそうです。

ふと、お腹のあたりに目をやると、隠れ肥満が気になります。今年こそ何かスポーツにチャレンジしようと考えますが、結局、サッカーや野球のテレビ観戦になりそうです。

家庭から出るごみのダイエットもよろしくお願いします。エコバッグの利用、牛乳パックや雑誌の回収等引き続きご協力をお願いします。(い)

越谷市	329,148人	138,868世帯
草加市	243,927人	106,665世帯
八潮市	83,731人	35,110世帯
三郷市	133,385人	56,174世帯
吉川市	67,411人	25,659世帯
松伏町	31,191人	11,442世帯
合計	888,793人	373,918世帯



(平成24年3月1日現在)

### 管内人口